



報道機関 各位

【埼玉県・さいたま市同時発表】

記者発表資料

平成26年11月18日（火）

問い合わせ先：都市経営戦略部

担当：浜崎・小池・真野

電話：829-1064

内線：2138

第15回埼玉県・さいたま市企画調整協議会を開催しました。

埼玉県・さいたま市企画調整協議会の第15回会議を下記のとおり開催しましたので、その結果の概要をお知らせします。

記

1 日時 平成26年11月18日（火） 午後1時30分～午後2時30分

2 場所 埼玉県庁 庁議室

3 出席者

埼玉県		さいたま市	
中野 晃	企画財政部長	大熊克則	都市戦略本部長
櫻井郁夫	企画財政部副部長	松原剛史	都市戦略本部総合政策監
中原健一	企画財政部地域政策局長	篠宮正巳	財政局財政部長

4 会議の結果

(1) 連携の方向性についての協議

次の事項について関係各課が取組の現状等を説明した後、連携の方向性について協議を行いました。

分野	協議事項		関係各課	
			埼玉県	さいたま市
市民活動	共助社会づくりの推進における連携	市民活動支援	県民生活部 共助社会づくり課 担い手支援担当 Tel 048-830-2828	市民・スポーツ文化局 市民生活部 コミュニティ推進課 市民活動支援室 Tel 048-813-6403

※内容についてのお問合せは、関係各課にお願いいたします。

(2) 対応方針（連携施策）についての報告

第14回協議会（8月開催）で協議した連携施策について報告を行いました。

分野	協議事項		関係各課	
			埼玉県	さいたま市
交通・観光	北陸新幹線開業 や上野東京ライン 開通等に向けた 連携	交通利便性の 向上	企画財政部 交通政策課 鉄道担当 TEL 048-830-2228	都市局 都市計画部 交通政策課 公共交通係 TEL 048-829-1054
		観光誘客の促進	産業労働部 観光課 観光・物産振興担当 TEL 048-830-3957	経済局 観光政策部 観光政策課 観光企画係 TEL 048-829-1365

※内容についてのお問合せは、関係各課にお願いいたします。

今回協議の主な内容

1 連携の方向性についての協議

以下のテーマについて、連携の方向性について協議を行いました。

共助社会づくりの推進における連携（市民活動支援）

（現状）

- 県では、「埼玉県5か年計画」において、地域の人々が共に支え合う「共助」の取組を拡大し、日本一の共助県を目指している。
- さいたま市では、市民が自発的かつ自主的に地域課題の解決に取り組む市民活動を推進し、協働のまちづくりを進めるため、市民活動の支援施策を実施している。
- 今後、人口減少・少子高齢化が進む中、福祉や環境、まちづくり、教育など様々な地域の課題解決のためには、NPOや自治会などによる地域の絆を活かした共助の取組が欠かせない。
- 県では、平成26年度から「共助の取組マッチング事業」や「共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワーク」を開始している。
- さいたま市は、県内でNPO法人が最も多く、市民活動サポートセンターの機能も充実しており、今後更なる共助社会づくりを推進するため、県市が連携を密にして取り組む必要がある。

（連携の方向性）

以下の方針の実現に向けて、県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

- 1 共助の取組マッチング事業における「専門家登録」窓口の設置
さいたま市にも「専門家登録」窓口を設置し、マッチングの取組を推進する。
※平成26年10月末現在 登録数 個人89件、団体9件
- 2 マッチングに関する情報の共有
県・市のマッチングに関する情報を共有することで、双方の事業の質を高め、連携して取り組むマッチング事業の有効性を県内市町村に広めていく。
- 3 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークへの参加
さいたま市も県と金融機関等で構成する「共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワーク」に参加する。

（参考）

- 1 共助の取組マッチング事業
地域の課題解決を図ろうとする「NPO・自治会など」と、スキルや人生経験を活かして社会貢献したい「専門家」をつなぎ、更に、助成金や寄附、融資など「活動資金」をつなぐことで、地域の課題解決の取組を支援する。
- 2 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワーク
県と金融機関等で、地域の様々な主体が取り組む共助のモデル事例、新たな資金循環の先進事例、社会的投資の評価などの情報を共有し、具体的な取組を行う。

2 対応方針（連携施策）についての報告

以下のテーマについて、連携施策について報告を行いました。

北陸新幹線開業や上野東京ライン開通等に向けた連携（交通利便性の向上）

（連携のねらい）

- 上野東京ラインの上野～東京間は宇都宮線・高崎線・常磐線が共用することから、全ての列車の乗り入れは困難な状況にある。そのため、さいたま市と県が協力し、鉄道事業者に対する働きかけを行うことにより、宇都宮線・高崎線からの乗り入れ本数を確保し、県内鉄道利用者の利便性の向上を図る。
- 大宮駅は首都圏の北の玄関口であるとともに、東北・上越・北陸新幹線やＪＲ宇都宮線、高崎線、京浜東北線、埼京線、東武野田線などが集まる一大交通拠点であり、地元のさいたま市が設置する機能高度化に向けた検討会に広域な自治体である埼玉県が参画することにより、大宮駅をより使いやすく魅力ある駅とするための検討を行う。

合意した連携施策

■ ＪＲ宇都宮線整備促進連絡協議会による鉄道事業者に対する要望の前置し実施

① 施策の概要

上野東京ライン開業時の宇都宮線・高崎線からの列車乗り入れ本数の確保のため、ＪＲ東日本に対する要望活動を共同で実施

- ・実施日：平成２６年８月２９日（金）
- ・主要要望内容
 - ・東京駅乗り入れ本数の確保
 - ・始発列車時刻の繰り上げ及び最終列車時刻の繰り下げ 等

■ 大宮駅の機能高度化及び周辺整備に向けた検討会の設置

① 施策の概要

大宮駅の駅機能高度化に向け、県・市及び関係鉄道事業者による検討を実施

- ・構成員：市・県・ＪＲ東日本、東武鉄道
- ・事務局：市
- ・開催状況：第１回検討会（８月２８日）
大宮駅の現状と大宮駅東口のまちづくりの状況について確認
- 第２回検討会（１１月１２日）
大宮駅の現状を踏まえた問題点と課題の整理及び駅前広場のあり方を協議
- ・今後の予定：年度内に２回程度開催予定

（参考）

- 平成２６年８月２７日にＪＲ東日本・西日本から北陸新幹線長野～金沢間の開業に伴う運行計画の概要が発表された。それによると大宮駅を通る北陸新幹線の全列車が大宮駅に停車する。
- 平成２６年１０月３０日にＪＲ東日本から上野東京ラインの直通運転の概要が発表された。それによると朝通勤ピーク時間帯では宇都宮線５本、高崎線５本、常磐線５本が東京駅に乗り入れる。

北陸新幹線開業や上野東京ライン開通等に向けた連携（観光誘客の促進）

（連携のねらい）

- 北陸新幹線の開業、上野東京ラインの開通を機に、北陸新幹線の停車駅であり高崎線、宇都宮線の分岐点である大宮駅を県内観光の玄関口として位置づけ効果的なプロモーションを実施する。

合意した連携施策

■ K N B 秋の大収穫祭への共同出展

① 施策の概要

北陸地域で最大級のイベントであるK N B 秋の大収穫祭への共同出展

- ・ 日程：平成26年10月5日（日）
- ・ 会場：富山テクノホール（富山市）
- ・ 来場者：15,000人
- ・ 内容：観光パンフレットの配布、狭山茶・草加煎餅等の販売、コバトン・ヌウによるPR

■ 大宮駅開業130周年記念イベントにおける共同PR（予定）

① 施策の概要

大宮駅開業130周年、上野東京ライン・北陸新幹線の開通に合わせて開催される「大宮駅開業130周年記念イベント」において、県市の共同PRを実施

- ・ 日程：平成27年3月中旬～下旬
- ・ 会場：大宮駅周辺
- ・ 内容：JRとイベント内容を調整した上で、県市の観光PRを実施

■ その他の連携イベント

① 施策の概要

北陸新幹線開業や上野東京ライン開通等に向けた連携以外でも、県市の連携の取組を実施

（平成26年度）

○ 埼玉県フェア（イオンレイクタウン）

- ・ 日程：11月13日～16日

○ Jリーグ ヤマザキナビスコカップ決勝戦（埼玉スタジアム2002）

- ・ 日程：11月8日

○ クイズ王決定戦

- ・ 日程（会場）：

予選：12月21日（県立大学）、1月12日（コクーン新都心）、1月25日（横瀬町民会館）

決勝：3月8日（さいたまスーパーアリーナ）

○ B級ご当地グルメ王決定戦

- ・ 日程：3月22日
- ・ 会場：草加市・綾瀬川左岸広場